

(様式第9)

島大医総第310-1号
平成25年10月4日

厚生労働大臣 殿

開設者名 島根大学医学部附属病院
井川

島根大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	66.25人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

→ 別紙参照(様式第12)

- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績

→ 別紙参照(様式第13)

- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医 師	324人	11人	330.2人	看護補助者	52人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	17人	0人	17.0人	理学療法士	8人	麻酔臨床検査技師	33人
薬剤師	28人	0人	28.0人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	5人	検査その他の	0人
助産師	16人	1人	16.8人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	523人	40人	548.8人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	7人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	2人	その他の技術員	34人
歯科衛生士	1人	2人	2.5人	歯科技工士	0人	事務職員	171人
管理栄養士	6人	0人	6.0人	診療放射線技師	27人	その他の職員	33人

(注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	390.9人	6.8人	397.7人
1日当たり平均外来患者数	902.5人	39.6人	942.1人
1日当たり平均調剤数	(入院) 455.8剤	(外来) 200.2剤	(合計) 656.0剤

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	造血幹細胞移植	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫の難治性の患者に対する治療。			
医療技術名	多チャンネルインピーダンス・pHモニタリング検査	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要			
一般的な治療に抵抗する胸やけや胸痛を有する患者の病因を調べる目的で行われる検査である。食道内へのあらゆる物質の逆流を24時間にわたり検索できる。			
医療技術名	LAMP法によるリケッチャ感染症の迅速診断	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
リケッチャ感染症患者の皮膚及び血液よりLAMP法によりリケッチャ遺伝子を検出し診断の補助をする。			
医療技術名	LAMP法による薬剤過敏関連遺伝子の検出	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
LAMP法により、テグレトールおよびアロプリノール薬剤過敏関連遺伝子を検出し、薬剤過敏症の予防を行う。			
医療技術名	関節鏡視下膝靭帯再建術	取扱患者数	71人
当該医療技術の概要			
関節鏡(内視鏡)を用いた最小侵襲手術かつ、無輸血手術、無駆血手術を行い、早期リハビリテーション、早期社会復帰を可能にしている。			
医療技術名	人工股関節全置換術	取扱患者数	28人
当該医療技術の概要			
クリーンルームで超清潔下に人工股関節置換術を行っている。			
医療技術名	脊髄誘発電位測定	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
手術中に脊髄誘発電位測定を行い、安全かつ有効な手術を可能にしている。			
医療技術名	顕微鏡視下手術	取扱患者数	34人
当該医療技術の概要			
脊椎外科・手の外科や腫瘍再建外科において、顕微鏡を用いた神経の剥離、微小血管・神経の縫合や組織移植を可能にしている。			
医療技術名	緑内障チューブシャント手術	取扱患者数	57人
当該医療技術の概要			
難治性緑内障に対し、緑内障ドレナージデバイスを移植し、眼圧下降を図る。			
医療技術名	ロボットスーツHALを使用した歩行訓練	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
脊髄損傷、小脳失調、片麻痺患者の歩行訓練にHALを用いる。			
医療技術名	ボトックスを用いた痙攣の治療	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
ボトックスを使用して筋の痙攣をコントロールすることによって嚥下障害、疼痛、随意性を改善できる。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	45 人	・膿疱性乾癥	4 人
・多発性硬化症	20 人	・広範脊柱管狭窄症	2 人
・重症筋無力症	35 人	・原発性胆汁性肝硬変	13 人
・全身性エリテマトーデス	106 人	・重症急性胰炎	5 人
・スモン	5 人	・特発性大腿骨頭壞死症	25 人
・再生不良性貧血	21 人	・混合性結合組織病	29 人
・サルコイドーシス	46 人	・原発性免疫不全症候群	0 人
・筋萎縮性側索硬化症	12 人	・特発性間質性肺炎	17 人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	99 人	・網膜色素変性症	10 人
・特発性血小板減少性紫斑病	35 人	・プリオン病	10 人
・結節性動脈周囲炎	24 人	・肺動脈性肺高血圧症	0 人
・潰瘍性大腸炎	92 人	・神経線維腫症	6 人
・大動脈炎症候群	14 人	・亜急性硬化性全脳炎	0 人
・ビュルガー病	8 人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0 人
・天疱瘡	10 人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	6 人
・脊髄小脳変性症	24 人	・ライソゾーム病	3 人
・クローン病	54 人	・副腎白質ジストロフィー	0 人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0 人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0 人
・悪性関節リウマチ	7 人	・脊髄性筋委縮症	0 人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	102 人	・球脊髄性筋委縮症	0 人
		・慢性炎症性脱髓性多発神経炎	7 人
・アミロイドーシス	6 人	・肥大型心筋症	2 人
・後縫靭帯骨化症	22 人	・拘束型心筋症	0 人
・ハンチントン病	2 人	・ミトコンドリア病	3 人
・モヤモヤ病(ウィルス動脈輪閉塞症)	10 人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0 人
・ウェグナー肉芽腫症	5 人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0 人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	16 人	・黄色靭帯骨化症	0 人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	17 人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	54 人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0 人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	・
・インプラント義歯	・
・人工括約筋を用いた尿失禁手術	・
・マイクロ波子宮内膜アブレーション	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<p>① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。</p>
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	22回／年
部検の状況	部検症例数 26 例 ／ 部検率 8.80%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高悪性度筋層非浸潤癌に対する経尿道的膀胱鏡切除後の治療方針の確立に関する研究	井川 幹夫	病院長	130,000	補 厚生労働科学研究費補助金
ホルモン受容機構異常に關する調査研究	杉本 利嗣	内分泌代謝内科	1,600,000	補 厚生労働科学研究費補助金
骨形成低下に伴う骨粗鬆症の治療法の開発を目指した骨形成シグナルの解明	杉本 利嗣	内分泌代謝内科	900,000	補 文部科学省科学研究費補助金
尿素系物質による異化亢進機序の解明と治療への応用	矢野 彰三	内分泌代謝内科	1,800,000	補 文部科学省科学研究費補助金
骨・血管連関の解明を目指したLDLレセプターが骨に及ぼす影響の検討	山内 美香	内分泌代謝内科	1,300,000	補 文部科学省科学研究費補助金
2型糖尿病患者において血中IGF-1値は新規骨折発生を予測するか?	金沢 一平	内分泌代謝内科	800,000	補 一般社団法人日本骨粗鬆症学会
エネルギー代謝調節因子は骨代謝を制御し、骨・糖代謝を結ぶ重要な因子となりうるか?	金沢 一平	内分泌代謝内科	1,200,000	補 文部科学省科学研究費補助金
白血病細胞外浸潤におけるROCKの機能解析と新規標的の戦略	大西 干惠	腫瘍・血液内科	1,000,000	補 文部科学省科学研究費補助金
消化管を主座とする好酸球性炎症症候群の診断治療法開発、疫学、病態解明に関する研究	木下 芳一	消化器内科	7,300,000	補 厚生労働科学研究費補助金
multi-modality全周性アーチアートの開発と食道運動能の解析	木下 芳一	消化器内科	800,000	補 文部科学省科学研究費補助金
制御性D細胞による腸管免疫抑制機構とその破綻による腸炎発症機序の解明	石原 俊治	消化器内科	1,300,000	補 文部科学省科学研究費補助金
バセット食道形成過程におけるNotchシグナルの機能解析: Cdx2との相互作用	石村 慶久	消化器内科	1,100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
糖尿病患者におけるカブサイン感受性神経の食道運動障害に与える影響についての検討	古田 賢司	消化器内科	600,000	補 文部科学省科学研究費補助金
インスレーターを介した難病発症機構の解明	三代 剛	消化器内科	1,600,000	補 文部科学省科学研究費補助金
慢性ウイルス性肝疾患の非侵襲的線維化評価法の開発と臨床的有用性の確立	佐藤 秀一	肝臓内科	700,000	補 厚生労働科学研究費補助金
松裕省戦略的情報通信研究開発促進制度(SCOPE)碧知症ケアのための地域医療支援ICTシステムの開発	山口 修平	神経内科	7,126,000	委 総務省中国総合通信局
動機づけシステムの脳内神経基盤の解明とアバシーの新規治療	山口 修平	神経内科	1,700,000	補 文部科学省科学研究費補助金
関節リウマチの対応導入療法向上、休業に関する検討	村川 洋子	膠原病内科	30,000	委 特定非営利活動法人病院医療研究会漫録
筋痛領域の抗悪性腫瘍薬の新規PK/PD解析方法の開発	磯部 感	呼吸器・化学療法内科	150,000	委 独立行政法人国立がん研究センター
非小細胞肺癌のファーストライン治療の個別化	磯部 感	呼吸器・化学療法内科	900,000	補 文部科学省科学研究費補助金
生命予後に関する重篤な食道アレルギーの実態調査-新規治療法の開発および治療指針の策定	森田 栄伸	皮膚科	15,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金
重症多形滲出性紅斑に関する調査研究	森田 栄伸	皮膚科	2,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金
アレルギー疾患のダイミック変化とともに背景因子による疾患経緯の改善効果に関する調査研究	金子 栄	皮膚科	800,000	補 厚生労働科学研究費補助金
質量分析計を利用した血中小麦タンパク質の網羅的分析と体内動態の解析	高橋 仁	皮膚科	800,000	補 文部科学省科学研究費補助金
成人独自のアナフィラキシーの実態と病歴に関する研究	千賀 祐子	皮膚科	250,000	補 厚生労働科学研究費補助金
腸管上皮細胞のタージョンシクションを介した少々抗原吸收機構の解明	千賀 祐子	皮膚科	1,800,000	補 文部科学省科学研究費補助金
タンデムマス導入による新生児マスククリーニング体制の整備と質的向上に関する研究	山口 清次	小児科	12,963,000	補 厚生労働科学研究費補助金
乳幼児死因研究(SDR)および乳幼児死因性急死症(ALTE)の原因解明による統合的研究	山口 清次	小児科	450,000	補 厚生労働科学研究費補助金
ヨコドリアミンに含まれる高乳酸血症に対するビルビン神ナトリウム治療法の検査研究-試験からの赤少尿病治療開発の追み	山口 清次	小児科	1,500,000	補 厚生労働科学研究費補助金
次世代シーケンサーを駆使した希少遺伝性難病の病因解明と治療法開発の研究	山口 清次	小児科	5,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金
新しい生後早期ターニング月齢に適応した先天性難病の検査基準及び治療法(特殊ミルク)の効果的な使用に関する研究	山口 清次	小児科	1,200,000	補 厚生労働科学研究費補助金
先天代謝異常症等の治療のために特殊調合した調製粉乳(特殊ミルク)の効果的な使用に関する研究	山口 清次	小児科	350,000	補 厚生労働科学研究費補助金
小児の急性脳症と有機酸・脂肪酸代謝障害の関連に関する研究	山口 清次	小児科	2,500,000	補 文部科学省科学研究費補助金
培養細胞とタンデムマスとを用いた小児感染毒素等によるβ酸化障害評価法の開発	山口 清次	小児科	1,100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ITD-FIT3陽性造血器腫瘍におけるp21WAF1の機能解析と新たな治療戦略	安部 真理子	小児科	1,100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
セレウス感染によるライス症候群の臨床像および病態に関する研究	小林 弘典	小児科	1,500,000	補 文部科学省科学研究費補助金
高度リンパ節転移を伴う進行胃癌の根治を目指した術前化学療法+拡大手術法の確立	平原 幸美	消化器外科	400,000	補 厚生労働科学研究費補助金
低体温漏出及び復温に伴う血漿蛋白質ワリン酸化(脱リジン)の網羅的アプローチ解析	齋田 祐二	心臓血管外科	7,100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
全血液成分を対象とするプロテオミクスによる脳低体温法に関する網羅的研究	齋田 祐二	心臓血管外科	1,200,000	補 文部科学省科学研究費補助金
半月板損傷治療をもたらす生体接着剤ピラミッドマスマ射法の開発	内尾 祐司	整形外科	1,100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
アデノシン三磷酸代謝に注目した変形性膝関節症の治療と進行度の予測	熊崎 伸之	整形外科	900,000	補 文部科学省科学研究費補助金
安全かつ効果的な同種骨移植骨を可能にするプラズマ処理	今出 真司	整形外科	900,000	補 文部科学省科学研究費補助金
関節内骨折に対する新しい治療法・骨製スクリューは既存の生体材料を凌駕するか?	河野 通快	整形外科	900,000	補 文部科学省科学研究費補助金
脳梗塞細胞およびニッチにおけるキヌレニン経路の阻害効果	宮崎 健史	脳神経外科	1,100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
治療抵抗性統合失調症に対する抑肝軸の有効性と安全性に関する多施設共同二重盲検ランダム化比較試験	宮崎 健史	精神科神経科	50,000,000	補 厚生労働科学研究費補助金
アカンジアの病態解明に関する周期性四肢運動の運動形態分類別の電気生理学的研究	宮崎 健史	精神科神経科	1,600,000	補 文部科学省科学研究費補助金
難治性結合失調症における塩酸ミサイクリンの有効性とその機序に関する研究	宮岡 剛	精神科神経科	1,500,000	補 文部科学省科学研究費補助金
活性化ヒトグリア細胞による神経毒性の研究	横岡 祐征	精神科神経科	696,705	補 文部科学省科学研究費補助金
難治性Type II子宮内膜癌の発癌機構解明とその臨床応用を目指した基礎的検討	宮崎 康二	産科婦人科	1,100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
GnRHパルス頻度依存性特異的ゴナドトロピン発現機構の解明	金崎 春彦	産科婦人科	1,300,000	補 文部科学省科学研究費補助金
難治性卵巣癌がんの新規増殖遺伝子NAC1を標的とした治療法の開発	中山 健太郎	産科婦人科	1,600,000	補 文部科学省科学研究費補助金
卵巣明細胞腺癌の新規癌抑制遺伝子ARID1Aの変異と抗癌剤耐性機構との関連	石川 雅子	産科婦人科	900,000	補 文部科学省科学研究費補助金
LH・FSH合成・分泌制御機構の解明	折出 亜希	産科婦人科	700,000	補 文部科学省科学研究費補助金
好酸球性副鼻腔炎の診断基準作成と網羅的解析に関する研究	川内 秀之	耳鼻咽喉科	400,000	補 厚生労働科学研究費補助金
なぜ舌下免疫療法は有効なの? -マウスモデルでの免疫学的解析-	川内 秀之	耳鼻咽喉科	900,000	補 文部科学省科学研究費補助金
スギ花粉症治療薬候補となるコメの開発	川内 秀之	耳鼻咽喉科	3,500,000	委 独立行政法人農業生物資源研究所
アレルギー性鼻炎におけるCD3OLの役割	齋藤 貴史	耳鼻咽喉科	1,500,000	補 文部科学省科学研究費補助金
島根県産高ルテイン含有野菜の開発と共に黄斑色素に好影響を及ぼす条件に関する研究	大平 明弘	眼科	1,777,000	補 公益財団法人島根県振興財團
DNA塩基除去修復欠損マウスを用いた網膜光障害の分子病態解明	大平 明弘	眼科	1,200,000	補 文部科学省科学研究費補助金
眼圧下降薬に対する薬剤応答バイオマーカー遺伝子の網羅的探索	谷戸 正樹	眼科	2,100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
がん疼痛の鎮痛法によって予後は変わるか?	齊藤 洋司	麻酔科	2,100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
μオピオイドによる痒みの機序解明とガバペントの鎮痒効果	今町 薫貴	麻酔科	1,000,000	補 文部科学省科学研究費補助金
脊髄における5HTレセプターの疼痛調節機能の役割を明らかにする	二階 哲朗	麻酔科	600,000	補 文部科学省科学研究費補助金
μオピオイド受容体内在化様式の違いを免疫電極測定法により解明する	石田 亮介	麻酔科	800,000	補 文部科学省科学研究費補助金
おどり遺伝子を用いた変形性膝関節症への新規遺伝子治療法の応用	石橋 浩晃	歯科口腔外	4,200,000	補 文部科学省科学研究費補助金
おどり遺伝子による癌の血管新生抑制を標的とした純国産型遺伝子治療法の開発	長井 薫	臨床検査科	3,000,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ナノ粒子とアミロイド親和・抑制物質によるアルツハイマー病早期診断・治療法開発研究	長谷川 有紀	輸血部	39,650,000	補 厚生労働科学研究費補助金
重症低分子フターゼ症に対する骨髄移植併用同種間葉系幹細胞移植	竹谷 健	輸血部	1,400,000	補 文部科学省科学研究費補助金
NUP98-HOX融合遺伝子と協調する遺伝子変異との白血病発症メカニズムの解析	竹谷 健	救命救急センター	1,200,000	補 文部科学省科学研究費補助金
Barrett食道及び腺癌発生におけるNotchシグナルとKLIF4の関連について	五川 祐司	救命救急センター	1,200,000	補 文部科学省科学研究費補助金
腸管上皮の再生および炎症性発癌の過程におけるLgr5陽性上皮幹細胞の機能解明	結城 崇史	光学医療診療部	1,800,000	補 文部科学省科学研究費補助金
小児に増加している脚気等ビタミン欠乏の実態と質量分析による疾患診断の確立	長谷川 有紀	新生児集中部	900,000	補 文部科学省科学研究費補助金
電磁環境からの医療機器の安全安心な使用環境の確立と医療効率向上に関する研究	花田 英輔	医療情報部	4,000,000	補 文部科学省科学研究費補助金
インシデントレポートによるリスクコスト算出の精緻化と自動化に関する研究	廣瀬 昌博	病院医学教育センター	2,400,000	補 文部科学省科学研究費補助金
医療安全文化成度の可視的指標の開発と検証に関する研究	廣瀬 昌博	病院医学教育センター	800,000	補 文部科学省科学研究費補助金
高齢化地域におけるMRSA感染症の治療効果向上のための研究	石原 慎之	薬剤部	500,000	補 文部科学省科学研究費補助金

(注)

1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
The Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism (平成24年4月)	Decreased PTH levels accompanied by low bone formation is associated with vertebral fractures in postmenopausal women with type 2 diabetes.	Yamamoto M	内分泌代謝内科
Journal of Endocrinological Investigation 35(平成24年5月)	Effects of intensive glycemic control on serum levels of Insulin-like growth factor-I and dehydroepiandrosterone sulfate in type 2 diabetes mellitus.	Kanazawa I	内分泌代謝内科
Osteoporosis International (平成25年3月)	Undercarboxylated osteocalcin is positively associated with free testosterone in male with type 2 diabetes mellitus.	Kanazawa I	内分泌代謝内科
Journal of Diabetes and its Complications (平成25年1月)	Advanced glycation end products-induced reactive oxygen species generation is partly through NF- κ B activation in human aortic endothelial cells.	Morita M	内分泌代謝内科
Calcified Tissue International (平成24年10月)	Advanced Glycation End Products (AGEs), but not High Glucose, Inhibit the Osteoblastic Differentiation of Mouse Stromal ST2 Cells Through the Suppression of Osterix Expression, and Inhibit Cell Growth and Increasing Cell Apoptosis.	Okazaki K	内分泌代謝内科
Journal of Bone and Mineral Metabolism 31(平成25年1月)	Fracture risk is increased by the complication of hypertension and treatment with calcium channel blockers in postmenopausal women with type 2 diabetes.	Yamaguchi T	内分泌代謝内科
The American Journal of Gastroenterology(2012.04)	Efficacy of twice-daily rabeprazole for reflux esophagitis patients refractory to standard once-daily administration of PPI: the Japan-based TWICE study	Kinoshita Y	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Gastroenterology (2012.04)	Therapeutic effects of famotidine on chronic symptomatic gastritis; subgroup analysis from FUTURE study	Kinoshita Y	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Neurogastroenterology and Motility(2012.04)	Influence of full-body water immersion on esophageal motor function and intragastric pressure	Aimi M	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Neurogastroenterology and Motility(2012.04)	Effects of Rikkunshito (TJ-43) on esophageal motor function and gastroesophageal reflux	Morita T	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Digestion(2012.09)	Elevated Plasma Cytokines in Japanese Patients with Eosinophilic Esophagitis and Gastroenteritis	Kinoshita Y	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Digestive Endoscopy(2012.07)	Double-balloon endoscopy for treatment of small bowel penetration by fish bone	Yuki T	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Gastroenterology (2012.10)	Prevalence of organic colonic lesions in patients meeting Rome III criteria for diagnosis of IBS: a prospective multi-center study utilizing colonoscopy	Ishihara S	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Laboratory Investigation (2012.06)	Notch signaling pathway and Cdx2 expression in the development of Barrett's esophagus	Tamagawa Y	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Clinical Biochemistry and Nutrition (2012.05)	Efficacy of pectin solution for preventing gastro-esophageal reflux events in patients with percutaneous endoscopic gastrostomy	Adachi K	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Current Therapeutic Research (2012.06)	Diarrhea caused by PPI administration: comparison among Lansoprazole, rebeprazole, and omeprazole	Shimura S	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Gastroenterology (2012.11)	Radially asymmetric gastroesophageal acid reflux in the distal esophagus: examinations with novel pH sensor catheter equipped with 8 pH sensors	Ohara S	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Pancreas(2012.10)	Fine three-dimensional reconstruction of peripheral exocrine gland in rat pancreas using transmission electron microscopic examination of serial sections	Kinoshita Y	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Endoscopy(2012.12)	Hepatic penetration by stomal ulcer: rare complication of a peptic ulcer.	Oka A	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Internal Medicine (2012.11)	Ulcerative colitis associated with isolated unilateral hypoglossal nerve palsy	Kawashima K	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of Gastroenterology and Hepatology(2012.04)	Endoscopic characteristics of short-segment Barrett's esophagus, focusing on squamous islands and mucosal folds	Ishimura N	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Digestion(2012.08)	Questionnaire-based survey conducted in 2011 concerning endoscopic management of Barrett's esophagus in East Asian countries.	Ishimura N	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Pancreas (2013.01)	Gastric intramural pseudocyst a rare complication of pancreatic pseudocyst	Oka A	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Digestive Diseases and Sciences (2012.06)	A study on the efficacy of rebamipide for patients with proton pump inhibitor-refractory non-erosive reflux disease	Adachi K	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
医学と薬学(2012.04)	寝たきり高齢者骨粗鬆症患者に対するエルカトニンの誤嚥性肺炎発症頻度に及ぼす影響に関する検討	本田千恵	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
島根医学(2012.12)	島根県内の透析患者における肝炎ウイルス感染に関するアンケート結果について	佐藤秀一	消化器内科、肝臓内科、光学医療診療部
Journal of the Neurological Sciences(2012年)	Dysfunction of default-mode network in encephalopathy with a reversible corpus callosum lesion	Mitaki S	神経内科
Journal of Cognitive Neuroscience(2012年)	Decreased intrinsic functional connectivity by aging is associated with cognitive decline	Onoda K	神経内科
Frontiers in Neuroscience(2012年)	Interaction of emotion and attention systems	Yamaguchi S	神経内科
PLoS ONE(2012年)	Association of genetic variants influencing lipid levels with coronary artery disease in Japanese individuals	Takeuchi F	神経内科
European Journal of Human Genetics(2012年)	N: Genome-wide association study of coronary artery disease in the Japanese	Takeuchi F	神経内科

(小計31)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Psychogeriatrics(2012年)	Improvement in delusions and hallucinations in patients with dementia with Lewy bodies upon administration of yokukansan, a traditional Japanese medicine	Iwasaki K	神経内科
Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases(2012年)	Low alberta stroke program early computed tomography score within 3 hours of onset predicts subsequent symptomatic intracranial hemorrhage in patients treated with 0.6 mg/kg alteplase	Hirano T	神経内科
Hypertension Research(2012年)	Reevaluation of the association of seven candidate genes with blood pressure and hypertension: A replication study and meta-analysis with a larger sample size	Takeuchi F	神経内科
Internal Medicine(2012年)	Opsclonus-myoclonus syndrome following influenza A infection	Morita A	神経内科
Frontiers in Evolutionary Neuroscience(2012年)	Is dorsal anterior cingulate cortex activation in response to social exclusion due to expectancy violation?: An fMRI study	Kawamoto K	神経内科
Case Reports in Neurology(2012年)	A cerebral embolism associated with a left atrial myxoma that was treated with thrombolytic therapy	Kohno N	神経内科
Cognitive and Behavioral Neurology(2012年)	The effect of ropinirole on apathy and depression after herpes encephalitis	Kohno N	神経内科
Acta Neurologica Scandinavica(2013年)	Impact of five SNPs in dopamine-related genes on executive function	Mitaki S	神経内科
Clinical Interventions in Aging(2013年)	Validation of a new mass screening tool for cognitive impairment: Cognitive Assessment for Dementia, iPad version	Onoda K	神経内科
Case Reports in Neurological Medicine(2013年)	Efficacy of T2*-weighted gradient-echo MRI in early diagnosis of cerebral venous thrombosis with unilateral thalamic lesion	Mitaki S	神経内科
Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases(2013年)	Gastro-esophageal reflux during enteral feeding in stroke patients : a 24-hour esophageal pH-monitoring study	Satou Y	神経内科
Journal of International Medical Research(2013年)	Comparative analysis of a complement fixation assay and enzyme immunoassay to determine the seroprevalence of measles and varicella in a survey of healthcare workers	Shibata H	神経内科
Neurology International(2013年)	A discrepancy between clinical course and magnetic resonance imaging in a case of non-herpetic acute limbic encephalitis	Kohno N	神経内科
Scandinavian Journal of Immunology 2012年 75	Elevated BAFF levels in the cerebrospinal fluid of patients with Neuro-Behcet's disease: BAFF is correlated with progressive dementia and psychosis	Sumita Y, Murakawa Y, Sugura T, Wada Y, Nragai	膠原病内科
診断病理 2012年 29号No3	全身性エリテマトーデス起因性急性線維素性器質化肺炎の1例	石川典由, 松村武史, 須谷顯尚, 長瀬真実子, 天野知香, 原田祐治	膠原病内科
J Cancer Res Ther(2012)	Erlotinib-induced acute interstitial lung disease associated with extreme elevation of the plasma concentration in an elderly non-small-cell lung cancer patient.	Tsubata Y	呼吸器・化学療法内科
Geriatr Gerontol Int(2012)	A retrospective analysis comparing the safety and efficacy of chemotherapy in elderly and non-elderly non-small-cell lung cancer patients.	Tsubata Y	呼吸器・化学療法内科
Anticancer Res(2012)	Tumor angiogenesis in 75 cases of pleomorphic carcinoma of the lung.	Tsubata Y	呼吸器・化学療法内科
Respiration(2012)	Increased Expression Levels of Integrin $\alpha 9 \beta 1$ and CD11b in Circulating Neutrophils and Elevated Serum IL-17A in Elderly Aspiration Pneumonia.	Taooka Y	呼吸器・化学療法内科
日本呼吸器学会誌(2012)	剥離性間質性肺炎様所見が併存したIgG4関連肺疾患の1例	岩本 信一	呼吸器・化学療法内科
結核(2012)	イソニアジドが被疑薬と考えられた非典型的葉剤性過敏症症候群の1例	岩本 信一	呼吸器・化学療法内科
日本呼吸器学会誌(2012)	心筋転移をきたした肺原発多形癌の1例	狩野 美美	呼吸器・化学療法内科
Clinical & Experimental Allergy(2012 August)	Recombinant high molecular weight-glutenin subunit-specific IgE detection is useful in identifying wheat-dependent exercise-induced anaphylaxis complementary to recombinant omega-5 gliadin-specific IgE test.	Takahashi Hitoshi	皮膚科
The Journal of Allergy and Clinical Immunology(2012 May)	CD203c expression-based basophil activation test for diagnosis of wheat-dependent exercise-induced anaphylaxis.	Chinuki Yuko	皮膚科
Pediatrics & Therapeutics 2(5): 1000e114(2012年7月)	Fighting against the CNS invasion of pediatric leukemia	Fukuda S	小児科
Molecular Genetics and Metabolism 107: 87-91 (2012年9月)	Bезafibrate can be a new treatment option for mitochondrial fatty acid oxidation disorders: Evaluation by in vitro probe acylcarnitine assay	Yamaguchi S	小児科
Molecular Genetics and Metabolism 107: 237-240 (2012年9月)	Clinical and molecular aspects of Japanese children with medium chain acyl-CoA dehydrogenase deficiency	Purevsuren J	小児科
Analytical and Bioanalytical Chemistry 405(4): 1345-1351 (2013年2月)	Intracellular in vitro probe acylcarnitine assay for identifying deficiencies of carnitine transporter and carnitine palmitoyltransferase-1	Purevsuren J	小児科
Neurology Asia 18(1): 35. (2013年3月)	A 14-year-old girl with hyperekplexia having GLRB mutations	Mine J	小児科
日本マス・スクリーニング学会誌 22(1): 29-34(2012年6月)	遊離カルニチンおよびアシルカルニチンの安定性の検討	山田健治	小児科
日本小児科学会雑誌 116(9): 1369-1374(2012年9月)	特発性縦隔気腫の臨床像	安部真理子	小児科
日本マス・スクリーニング学会誌 22(3): 218-223(2012年11月)	タンデムマス法による新生児マススクリーニングを契機に診断された母親のメチルクロロトリルグリシン尿症	虫本雄一	小児科
日本小児科学会雑誌 117(1): 135-137 (2013年1月)	増加するマクロライド耐性マイコプラズマ	小山千草	小児科

(小計33)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
臨床神経学 53(3): 191-195 (2013年3月)	成人後に診断された有機酸・脂肪酸代謝異常症の臨床的検討	山田健治	小児科
日本未熟児新生児学会雑誌 24(2): 291-296, (2012年6月)	胎児母体間輸血症候群により重症貧血と心不全を合併した低出生体重児の1例 胎児中大脳動脈の血流評価の有用性	柴田直昭	小児科
Anticancer Research (2012年7月)	Protein-bound Polysaccharide-K(PSK) induces apoptosis via p38 mitogen-activated protein kinase pathway in promyelomonocytic leukemia HL-60 cells	Noriyuki Hirahara	消化器外科
手術(2012年7月)	腹臥位胸腔鏡下食道切除術における左反回神経周囲リンパ節郭清の工夫	平原典幸	消化器外科
European journal of surgical oncology(2012年5月)	Appraisal of a total meso-pancreatoduodenum excision with pancreaticoduodenectomy for pancreatic head carcinoma	Yasunari Kawabata	肝胆脾外科
Clinical Experimental Metastases (2012年7月)	Attenuation of reactive oxygen species by antioxidants suppresses hypoxia-induced epithelial-mesenchymal transition and metastasis of pancreatic cancer cells	Yoshihide Shimojo	消化器外科
日本手術医学会誌 (2012年9月)	チームで取り組む手術体位シミュレーションの効果	山本 徹	消化器外科
World Journal of Surgical Oncology (2012年10月)	Secure hemostasis in transhiatal esophagectomy for esophageal cancer with gauze packing	Noriyuki Hirahara	消化器外科
手術(2012年9月)	切除不能肺癌に対する腹腔鏡下空腸バイパス術	川畠廉成	肝胆脾外科
Oncology Reports (2013年1月)	Protein-bound polysaccharide-K induces apoptosis via mitochondria and p38 mitogen-activated protein kinase-dependent pathways in HL-60 promyelomonocytic leukemia cells	Noriyuki Hirahara	消化器外科
European Surgical Research (2013年2月)	Distal pancreatectomy utilizing a flexible stapler closure eliminates the risk of pancreas-related factor for postoperative pancreatic fistula	Yasunari Kawabata	肝胆脾外科
Cryobiology(2012.10)	Hypothermia produces rat liver proteomic changes as in hibernating mammals but decreases endoplasmic reticulum chaperones	Teiji Oda	心臓血管外科
日本血管外科学会雑誌 (2013.2)	脳梗塞・上肢動脈塞栓症を合併した鎖骨下動脈瘤の1例	花田 智樹	心臓血管外科
Clinical Orthopaedics and Related Research 470(7): 2043-2050(2012.7月)	Bone Screws Have Advantages in Repair of Experimental Osteochondral Fragments.	Kono M	整形外科
Archives of Gerontology and Geriatrics 54(2): e113-117 (2012.4月)	Mortality in patients with hip fracture aged over 90 years: A report from progressively aging island.	Kadowaki M	整形外科
Archives of Orthopaedic and Trauma Surgery 132(8): 1077-1083(2012)	A "sandwich" method of reconstruction of the medial patellofemoral ligament using a titanium interference screw for patellar instability in skeletally immature patients.	Kumahashi N	整形外科
Journal of Orthopaedic Science 17: 619-625(2012)	Superior fixation of machine-made bone pegs over handmade bone pegs	Imade S	整形外科
The Journal of hand surgery, European volume 37(9): 899-900(2012)	Treatment of scaphoid nonunion using an autologous bone screw.	Imade S	整形外科
Orthopedics 35(10): e1566-1570 (2012)	Late malignant transformation of giant cell tumor of bone 41 years after primary surgery.	Kadowaki M	整形外科
Science and Technology of Advanced Materials 13(6): 1-5 (2012)	Effectiveness and biocompatibility of a novel biological adhesive application for repair of meniscal tear on the avascular zone.	Inoue T	整形外科
European Journal of Orthopaedic Surgery and Traumatology 22(Supple 1) s184-	Sequential multiple insufficiency fractures around knee over 6 months in a patient with primary osteoporosis.	Kadowaki M	整形外科
Knee. (2012.08.14)	A comparison of patient-reported outcomes and arthroscopic findings between drilling and autologous osteochondral grafting for the treatment of articular cartilage defects combined with	Imade S	整形外科
Journal of Orthopaedic Science. (2012.12.11)	Medial ankle impingement syndrome with talocalcaneal coalition treated by arthroscopy-assisted resection: a case report.	Kadowaki	整形外科
Journal of Orthopaedic Science. (2012.09.29)	Fixation of osteochondral fractures of the patella using autologous bone screws when reconstructing the medial patellofemoral ligament after recurrent patellar dislocation: report	Kumahashi N	整形外科
中部日本整形外科学会雑誌54(6): 1225-1226(2012)	頸椎性脊髄症に対する椎弓形成術、前方除圧固定術後に軸椎歯突起後方偽腫瘍による脊髄症再々増悪を生じた1例	国村大樹	整形外科
中部日本整形外科学会雑誌55(2): 255-256(2012)	膝靭帯損傷患者における機能的磁気共鳴画像(fMRI)を用いた運動認知の評価	門脇 俊	整形外科
整形外科63(9): 957-960(2012)	てんかん発作による肩関節後方脱臼骨折の1例。	山上信生	整形外科
関節外科31 10月増刊号: 272-275, 2012	発育期の膝関節障害—反張膝、内反膝、外反膝、Blount病—。	内尾祐司	整形外科
整形外科63(13): 1383-1392, 2012	スポーツに伴う膝関節軟骨傷害の病態と治療。	内尾祐司	整形外科
日本小児整形外科学会雑誌 21(2): 364, 2012	成長期運動器検診の現況と課題。	内尾祐司	整形外科
Journal of Spine Research 3(12): 1552-1554, 2012	胸椎良性性腫瘍切除脊柱再建術後ロッド折損に対して再手術を施行した1例。	松崎雅彦	整形外科
別冊整形外科62: 81-85, 2012	変形性膝関節症における3.0T遮延相ガドリニウム造影MRI(dGEMRIC)とT2マッピングを用いた診断と足底板治療における関節軟骨の質的評価。	熊橋伸之	整形外科
日本人工関節学会誌42: 599-600, 2012	THA術後成績 セメントレスTHAの臼蓋側移植骨の経時的变化と臨床成績。	馬庭壮吉	整形外科

(小計33)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
中部日本整形外科災害外科学会55(5): 1069-1070, 2012	Snapping kneeに対し関節鏡視下外側支帯切離術を行った1例.	熊橋伸之	整形外科
The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 49(12): 928-929(2012)	関節リウマチ患者の手術と術後リハビリテーションの動向.	馬庭社吉	整形外科
Hip Joint 38: 1165-1168 (2012)	足部CRPSに合併した一過性大腿骨頭萎縮症の1例.	門脇 俊	整形外科
別冊整形外科62: 158-162 (2012)	【運動器疾患の画像診断】MRI診断 その他 機能的MRIを用いた膝靭帯損傷における運動認知機能の評価.	門脇 俊	整形外科
日本小児科学会雑誌116(9): 1451-1452, 2012	MRIにより早期に診断できた壊死性筋膜炎の1歳男児例.	田中直美	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会55(3): 611-612, 2012	両側習慣性膝蓋骨脱臼に対して両側同時内側膝蓋大腿靭帯再建術を行った1例.	桑田 卓	整形外科
中国・四国整形外科学会雑誌 24(1): 131-137(2012)	骨端線閉鎖前の前十字靱帯損傷に対して関節鏡視下一次縫合術を行った1例.	伊藤修司	整形外科
中国・四国整形外科学会雑誌 24(1): 55-59(2012)	ハローベスト固定で治療した小児環軸椎回旋位固定の1例.	国村大樹	整形外科
JOSKAS 37(1): 112-113 (2012)	前十字靱帯損傷患者に対する機能的磁気共鳴画像(fMRI)を用いた運動認知の評価	門脇 俊	整形外科
Osteoarthritis and Cartilage 21(1): 126-135, 2013(2013.1月)	A longitudinal study of the quantitative evaluation of patella cartilage after total knee replacement by delayed gadolinium-enhanced magnetic resonance imaging of cartilage (dGEMRIC) and T2 mapping at 3.0T: preliminary results.	Kumahashi N	整形外科
Archives of Orthopaedic and Trauma Surgery 133(1): 135-139, (2013.1月)	Osteochondral autograft transplantation for malunited intra-articular fracture of the proximal interphalangeal joint: a case report.	Yamagami N	整形外科
Journal of Foot & Ankle Surgery. (2013.3月)	Modification of Side-locking Loop Suture Technique Using an Antislip Knot for Repair of Achilles Tendon Rupture.	Imade S	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌56(1): 225-226 (2013.1月)	小児前腕両骨骨幹部骨折に対する髓内固定術の治療経験.	山上信生	整形外科
島根医学33(1): 1-7(2013.3月)	変形性膝関節症の病態と治療.	内尾祐司	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会56(1): 209-210(2013.1月)	鎖骨遠位端骨折の術後成績.	多久和紘志	整形外科
World Congress on Medical Physics and Biomedical Engineering Proceedings 39	The viscoelastic properties of a decompressive craniectomy site toward clinical application.	Nagai Hidemasa	脳神経外科
Turkish Neurosurgery	Rathke's cleft cyst with Non-hemorrhagic Rupture resulting in Alteration of signal intensity for a Short Period: Case Report.	Kambara Mizuki	脳神経外科
Int Urol Nephrol. (2012 Jun)	Indocyanine green (ICG)-based fluorescence navigation system for discrimination of kidney cancer from normal parenchyma: application during partial nephrectomy.	三井要造	泌尿器科
BJUI (2012 Dec)	Prediction of survival benefit using an automated bone scan index in patients with castration-resistant prostate cancer	三井要造	泌尿器科
日本透析医学会雑誌(2012.5)	Hyper Eye Medical System(HEMS)を用いた内シャント血流動態の評価	三井要造	泌尿器科
西日本泌尿器科(2013.2)	近赤外蛍光カラーカメラシステムを利用した腎部分切除の1例	有地直子	泌尿器科
Progress in Neuro-Psychopharmacology & Biological Psychiatry (2012年6月1日)	Minocycline as adjunctive therapy for patients with unipolar psychotic depression: an open-label study.	宮岡 剛	精神科神経科
Case Reports in Psychiatry (2012年9月30日)	May Salivary alpha-amylase level be a useful tool for Assessment of the severity of schizophrenia and Evaluation of Therapy? A case report.	家田 麻紗	精神科神経科
BMC Psychiatry (2012年11月29日)	Yokukansan (TJ-54) for treatment of pervasive developmental disorder not otherwise specified and Asperger's disorder: a 12-week prospective, open-label study.	宮岡 剛	精神科神経科
Psychogeriatrics (2012年12月)	Marked improvement in delirium with ramelteon:five case reports.	古屋 智英	精神科神経科
Sleep and Biological Rhythms (2013年1月)	Possibility of early withdrawal of benzodiazepine hypnotics by combination with ramelteon for the treatment of insomnia:A pilot study	古屋 智英	精神科神経科
Human Pathol(2012)	Biological and clinical significance of NAC1 expression in cervical carcinomas: A comparative study between squamous cell carcinomas and adenocarcinomas/adenosquamous carcinomas.	Yeasmin S	産科婦人科
Int J Gynecol Cancer(2012)	Frequent loss of tumor suppressor ARID1A protein expression in adenocarcinomas/adenosquamous carcinomas of the uterine cervix.	Katagiri A	産科婦人科
Cancer(2012)	[Prognostic and therapeutic impact of amplification of the chr20q13.2 ZNF217 locus in ovarian clear cell carcinoma.	Rahman MT	産科婦人科
Br J Cancer(2012)	Fatty acid synthase expression associated with NAC1 is a potential therapeutic target in ovarian clear cell carcinomas.	Rahman MT	産科婦人科
Human Pathol(2012)	Clinicopathological and biological analysis of PIK3CA mutation in ovarian clear cell carcinoma	Rahman M	産科婦人科
Human Pathol(202)	Clinicopathological analysis of loss of ARID1A expression in endometrial cancer.	Rahman M	産科婦人科
Am J Clin Pathol(2012)	Notch3 overexpression as potential therapeutic target in advanced stage chemoresistant ovarian cancer.	Rahman MT	産科婦人科

(小計33)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anticancer Res(2012)	Gene amplification of ZNF217, located at chr20q13.2, is associated with lymph node metastasis in ovarian clear cell carcinoma.	Rahman MT	産科婦人科
Anticancer Res(2012)	NAC1, A BTB/POZ Protein Overexpressed in Uterine Sarcomas.	Rahman MT	産科婦人科
Oncology(2012)	Fatty Acid Synthase is a Potential Therapeutic Target in ER/PR Positive Endometrioid Endometrial Cancer.	Rahman MT	産科婦人科
Clin Exp Obstet Gynecol(2013)	Surgical treatment outcomes of serious chronic tuboovarian abscess: A single-center series of 20 cases.	Nakayama K	産科婦人科
Int J Gynecol Cancer(2012)	Frequent loss of tumor suppressor ARID1A protein expression in adenocarcinomas/adenosquamous carcinomas of the uterine cervix.	Katagiri H	産科婦人科
Anticancer Res(2012)	PPP2R1A mutation is a rare event in ovarian carcinoma across histological subtypes	Rahman M	産科婦人科
Clin Exp Obstet Gynecol(2013)	Hypermenorrhea treatment has entered a new era in Japan ~Microwave endometrial ablation~	Nakayama K	産科婦人科
J Obstet Gynaecol Res(2013)	Microwave endometrial ablation at a frequency of 2.45 GHz for menorrhagia: Analysis of treatment results at a single facility.	Nakayama K	産科婦人科
Journal of Microwave Surgery (2012)	術前、術中の大量子宮出血に対するMEA(Microwave endometrial ablation)の止血効果の検討	中山健太郎	産科婦人科
Gynecological Surgery(2012)	Evaluation of Immediate Laparoscopic Surgery for Gynecologic Disorders.	Kanasaki H	産科婦人科
Endocrine Journal(2012)	Role of Neurokinin B and Dynorphin A in Pituitary Gonadotroph and Somatotroph Cell lines.	Mijiddorj T	産科婦人科
Endocrine Journal(2012)	Effects of Estradiol and Progesterone on Prolactin Transcriptional Activity in Somatotrophic Cells.	Mijiddorj T	産科婦人科
International Journal of Surgery (2012)	Popularization of tension-free vaginal mesh surgery for the treatment of pelvic organ prolapse in Japan: A retrospective review of the first 50 procedures performed by a gynecologist.	Kanasaki H	産科婦人科
Molecular and Cellular Endocrinology(2012)	Prolonged Stimulation with Thyrotropin-Releasing Hormone and Pituitary Adenylate Cyclase-Activating Polypeptide Desensitize their Receptor Functions in Prolactin-Producing GH3 Cells	Mijiddorj T	産科婦人科
Neuroendocrinology Letters (2012)	Effects of Estradiol and Progesterone on Gonadotropin LHb- and FSHb-subunit Promoter Activities in Gonadotropin LbT2 cells. Neuroendocrinology Letters	Kanasaki H	産科婦人科
臨床免疫+A6:A6:E20	第2世代抗ヒスタミン薬による初期療法の有用性—作用機序から考える—	青井 典明	耳鼻咽喉科
医師ジャーナル Vol.49 No.1 2013	抗ヒスタミン薬の初期治療の現状と将来～スギ花粉症初期療法を中心にも～	青井 典明	耳鼻咽喉科
アレルギー臨床32(4).2012	化学伝達物質遊離制御薬	青井 典明	耳鼻咽喉科
アレルギーの臨床33(1).2013	重症度、症状別によるスギ花粉症の薬物療法(内服薬)の在り方	青井 典明	耳鼻咽喉科
日本口腔・咽頭学会雑誌 第26巻1号(平成25年3月31日)	偏桃周囲脳腫 窄刺および切開排膿の適応と限界	青井 典明	耳鼻咽喉科
JOHNS Vol.29 No.3(2013)	局所感染に対する生体防御機構—粘膜におけるバリアーと自然免疫—	青井 典明	耳鼻咽喉科
Inflammation Research.61(9)29May.2012	Prevention of lung injury by Muc1 mucin in a mouse model of repetitive <i>Pseudomonas aeruginosa</i> infection.	Hideyuki Kawauchi,	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx, 39,553–556, 2012	Examination, diagnosis and classification for Japanese allergic rhinitis: Japanese guideline.	Hideyuki Kawauchi,	耳鼻咽喉科
Audiology Neurotology, 2012	: Canalith Repositioning Procedures among 965 Patients with Benign Paroxysmal Positional Vertigo	H.Kawauchi,	耳鼻咽喉科
ALL-Ex. 特別号, 2013年1月	花粉症治療における初期療法の基本的な考え方	川内秀之	耳鼻咽喉科
アレルギーの臨床, 33(1), 16, 2012年12月25日	特集 花粉症患者治療の実際と今後の方向性-特集に寄せて-	川内秀之	耳鼻咽喉科
抗ヒスタミン薬達人の処方箋Rx. 2013年3月10日	抗ヒスタミン薬の効果、眠気個人差が生じる理由は?	川内秀之	耳鼻咽喉科
抗ヒスタミン薬達人の処方箋Rx. 2013年3月11日	非鎮静性抗ヒスタミン薬の薬剤間に効果、眠気の違いはあるのか?	川内秀之	耳鼻咽喉科
抗ヒスタミン薬達人の処方箋Rx. 2013年3月12日	1日1回の薬剤と2回の薬剤の特徴を活かす使い方は?	川内秀之	耳鼻咽喉科
Hindawi Publishing Corporation Journal of Allergy Volume 2012. Article ID490905,11 Pages	Sublinual Immunotherapy Induces Regulatory Function of IL-10-Expressing CD4+CD25+Foxp3+T Cervical Lymph Nodes in Murine Allergic Rhinitis Model.	Hideyuki Kawauchi	耳鼻咽喉科
International Journal of Pediatric otorhinolaryngology77(2013)1065-1071	The pathophysiology of the hygiene hypothesis	Hideyuki Kawauchi	耳鼻咽喉科
Investigative Ophthalmology & Visual Science 53(6): 3054–3058(June, 2012)	Visual function and vision-related quality of life after vitrectomy for epiretinal membranes: A 12-month follow up study	Yotaro Matsuoka	眼科
PLOS ONE 7(11): 1-7 (Nov, 2012)	Status of systemic oxidative stresses in patients with primary open-angle glaucoma and pseudoexfoliation syndrome	Masaki Tanito	眼科

(小計33)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本眼科学会雑誌 116(8):730-739 (2012年8月)	桜江スタディにおける眼底写真の視神経乳頭形状解析	谷戸 正樹	眼科
Acta Ophthalmologica e654-655	Anterior chamber parameters measured using the pentacam scheimpflug imaging device before and after cataract surgery in eyes with primary angle closure	Tetsuro Oomura	眼科
Acta Ophthalmologica 91(2): e167-168 (Mar, 2013)	A case of chorioretinal atrophy due to sclerochoroidal calcification	Katsunori Hara	眼科
Eur J Radiol(2012年7月)	Estimation of liver function using T2* mapping on gadolinium ethoxybenzyl diethylenetriamine pentaacetic acid enhanced magnetic resonance imaging.	勝部 敬	放射線部
Clinical Imaging(2013年1月)	Power doppler ultrasonography for assessment of rheumatoid synovitis:comparison with dynamic Magnetic resonance imaging. Appropriate evaluation of and risk factors for radiation dermatitis in breast cancer patients receiving hypofractionated whole-breast irradiation after breast-conserving surgery	福庭栄治	放射線科
Breast Cancer(2012.4)		Taisuke Inomata	放射線治療科
Journal of Radiation Research(2012)	Efficacy of intraoperative radiotherapy targeted to the abdominal lymph node area in patients with esophageal carcinoma	玉置幸久	放射線治療科
麻酔(2012年7月)	生理食塩液を灌流液とする経尿道的前立腺切除中のモニターの検討	渡部祐子	麻酔科
日本臨床麻酔学会誌(2012年5月)	これから術後鎮痛 硬膜外術後鎮痛の選び方	土井克史	麻酔科
Anesthesia & Analgesia(2012年7月)	Gabapentin augments the antihyperalgesic effects of diclofenac sodium through spinal action in a rat postoperative pain model	奈良井康宏	麻酔科
Anesthesia & Analgesia(2012年10月)	Immediate and Delayed Remifentanil-Induced Hypersensitivity. To the Editor	石田亮介	麻酔科
臨床麻酔(2012年12月)	急性増悪した環軸不安定症の乳児に乳児用エアトラックRが有用であった麻酔経験	柳原賢司	麻酔科
International Journal of Dentistry	Simultaneous Sinus Lifting and Alveolar Distraction of a Severely Atrophic Posterior Maxilla for Oral Rehabilitation with Dental Implants	Takahiro Kanno	歯科口腔外科
日本骨粗鬆症学会雑誌	骨粗鬆症患者におけるビスフォスフォネート関連頸骨壊死の予防・治療指針の確立	関根淨治	歯科口腔外科
International Surgery	Maxillary verrucous carcinoma coincident with cervical lymph node metastasis of colon adenocarcinoma	Hatsumi Yano Kato	歯科口腔外科
日本顎顔面インプラント学会誌	荷重後にインプラントが脱落した8例の原因に関する臨床的検討	恒松晃司	歯科口腔外科
日本口腔外傷学会雑誌	Functional and aesthetic oral rehabilitation using dental implant following alveolar regenerative augmentation for post-traumatic severe atrophic alveolar ridge of the anterior maxilla: vertical alveolar distraction with simultaneous GBR vs. cortical veneer bone grafting with simultaneous GBR	Takahiro Kanno	歯科口腔外科
Hospital Dentistry & Oral-Maxillofacial Surgery	耳下腺導管開口部に認めた比較的大きな類球形唾石の1例	菊地 萌	歯科口腔外科
日本口腔外科学会雑誌	持続出血に対して緊急治療を要した小児の口腔顎顔面外傷の1例	菅野貴浩	歯科口腔外科
Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology	Orbital floor reconstruction in zygomatic-orbital-maxillary fracture with a fractured maxillary sinus wall segment as useful bone graft material. Journal of Oral and Maxillofacial Surgery	Takahiro Kanno	歯科口腔外科
島根医学検査 (平成24年6月5日)	病理検査室から見た呼吸器感染症	足立 純里加	検査部
島根医学検査 (平成24年6月5日)	腎機能マーカーとしてのシタチエンCの有用性の検討	渕田 智美	検査部
島根医学検査 (平成24年6月5日)	免疫グロブリン値と蛋白分画において乖離を認めた1症例の解析と対策方法についての検討	松田 親史	検査部
島根医学検査 (平成24年6月5日)	多焦点パーチャルスライドの血液形態精度管理への応用とその有用性の検討	三島 清司	検査部
島根医学検査 (平成24年6月5日)	臨床から分離されたLinezolid耐性MRSAの一症例	谷口 由紀	検査部
島根医学検査 (平成24年6月5日)	脳波検査における+αの結果報告	新田 江里	検査部
医学検査 (平成24年9月25日)	尿検査に関する実施方法のアンケート調査－標準化への取組み前後3年間の比較－	松田 親史	検査部
The Journal of International Medical Research (平成25年2月)	Comparative analysis between complement fixation assay and enzyme immunoassay for seroprevalence survey of health-care workers against measles and varicella	柴田 宏	検査部
Journal of the Association for Rapid Method and Automation in Microbiology	LAMP法によるマイコプラズマ核酸検出検査の有用性	松田 親史	検査部
Brain Res (平成25年2月)	Increased Vulnerability of Hippocampal CA1 Neurons to Hypoperfusion in Ataxia and Male Sterility (AMS) Mouse	長井 篤	検査部
Int J Hematol (平成24年5月)	Childhood acute myeloid leukemia with bone marrow eosinophilia caused by t(16;21)(q24;q22)	竹谷 健	輸血部
小児科臨床 (平成24年11月20日)	当院における迅速検査の実際-LAMP法を用いたインフルエンザ・百日咳・マイコプラズマ・結核・エルシニアの診断の有用性-	竹谷 健	輸血部
Anticancer Agents Med Chem. 2012 Sep;12(7)	A novel fusicoccin derivative preferentially targets hypoxic tumor cells and inhibits tumor growth in xenografts.	川上 耕史	腫瘍センター
Leuk Lymphoma. 2012 Jul;53(7):1399-405.	Importance of inducible multidrug resistance 1 expression in HL-60 cells resistant to gemtuzumab ozogamicin.	Suzumiya J	腫瘍センター

(小計34)

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Cancer Sci. 2012 Jun;103(6):1079-83.	Aggressive natural killer cell leukemia: therapeutic potential of L-asparaginase and allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	Suzumiya J	腫瘍センター
J Clin Oncol. 2012 May 10;30(14):1635-40.	Prognostic index for acute- and lymphoma-type adult T-cell leukemia/lymphoma.	Suzumiya J	腫瘍センター
Am J Hematol. 2012 Aug;87(8):790-4.	The prognostic significance of lymphopenia in peripheral T-cell and natural killer/T-cell lymphomas: a study of 826 cases from the International Peripheral T-cell Lymphoma Project.	Suzumiya J	腫瘍センター
Ann Oncol. 2012 Oct;23(10):2703-7.	Extranodal natural killer/T-cell lymphoma from skin or soft tissue: suggestion of treatment from multinational retrospective analysis.	Suzumiya J	腫瘍センター
Clin Cancer Res. 2012 Aug 1;18(15):4183-90.	Pretreatment EBV-DNA copy number is predictive of response and toxicities to SMILE chemotherapy for extranodal NK/T-cell lymphoma, nasal type.	Suzumiya J	腫瘍センター
Br J Haematol. 2012 Oct;159(1):88-93.	Stem cell transplantation for paediatric patients with non-anaplastic peripheral T-cell lymphoma in Japan.	Suzumiya J	腫瘍センター
Tumori. 2013 Mar-Apr;99(2):239-48.	Antitumor effect of Japanese apricot extract (MK615) on human cancer cells in vitro and in vivo through a reactive oxygen species-dependent mechanism.	Suzumiya J	腫瘍センター
Journal of Orthopaedic Science(2012.4)	Evaluation of magnetic resonance imaging and clinical outcome after tissue-engineered cartilage implantation: prospective 6-year follow-up study.	Tadenuma T.	整形外科、リハビリテーション部
リハビリテーション医学(2012.10)	中国・四国地方会におけるリハビリテーション科医師増員のためのリハビリテーション研修施設指導責任者の取り組み調査.	馬庭壯吉	リハビリテーション部
日本人工関節学会誌(2012.12)	セメントレスTHAの臼蓋側 移植骨の経時的変化と臨床成績.	馬庭壯吉	リハビリテーション部
PRZEGLAD ELEKTROTECHNICZNY (2012.06)	Improving the clinical physiological examination environment - Avoiding EMD on medical equipment used for detecting biological signals -	Hanada E.	医療情報部、検査部
日本遠隔医療学会雑誌(2012.09)	マルチメディア双方向通信システム端末の小型軽量化と新たな活用	花田英輔	医療情報部
TDM研究 29巻2号(2012.04)	メロペネムPK-PDソフトウェアを用いた個別適正投与設計	石原慎之	薬剤部

(小計13)

計210

(注)

1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 井川 幹夫		
管理担当者氏名	検査部長 長井 篤 放射線部長 北垣 一 手術部長 佐倉 伸一 薬剤部長 直良 浩司 看護部長 秦 美恵子 総務課長 林 勝幸 医療サービス課長 山崎 幸司		

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療サービス課 手術部 薬剤部 検査部 放射線部 看護部	カルテ等病歴資料は、入院・外来別に1患者1ファイル方式で管理し、エックス線写真は放射線部で患者毎に管理を行っている。なお、平成18年9月の電子カルテ導入後、電子化されたものは医療情報システムのデータベース上で、患者IDをキーにして管理されている。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿 高度の医療の提供の実績 高度の医療技術の開発及び評価の実績 高度の医療の研修の実績 閲覧実績 紹介患者に対する医療提供の実績 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医学部総務課 医学部医療サービス課 医学部総務課 医学部総務課 医学部医療サービス課 医学部医療サービス課及び薬剤部	
第規 一則 号第 に一 掲条 げの る十 体一 制第 の一 確項 保各 の号 状及 況び 第九	医療に係る安全管理のための指針の整備状況 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医学部医療サービス課 医学部医療サービス課 医学部医療サービス課 医学部医療サービス課 医学部医療サービス課	

条の二十三第一項	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医学部医療サービス課
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医学部医療サービス課
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医学部医療サービス課

病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一条の第一項各号及び第九条の二十三条第一項第一号に掲げる体制の確保の	保管場所	分類方法
		院内感染のための指針の策定状況	医学部医療サービス課
	院内感染対策のための委員会の開催状況	医学部医療サービス課	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	医学部医療サービス課	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	医学部医療サービス課	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医学部医療サービス課	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医学部医療サービス課及び薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医学部医療サービス課及び薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医学部医療サービス課及び薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医学部医療サービス課	
	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医学部医療サービス課及びMEセンター	
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医学部医療サービス課及びMEセンター	

状況	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医学部医療サービス課及びMEセンター
----	---	--------------------

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医学部事務部長 藤原 楠生
閲覧担当者氏名	医療サービス課長 山崎 幸司
閲覧の求めに応じる場所	附属病院2階 カルテ閲覧室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	76.6 %	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数 B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数 C：救急用自動車によって搬入された患者の数 D：初診の患者の数	9,220人 7,805人 2,054人 17,095人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： はじめに 「医療安全文化を維持向上させるために」 1 安全管理に関する基本指針 島根大学医学部附属病院における安全管理に関する基本方針 2 医療事故防止の基本 3 医療事故防止に関する基本用語 4 インフォームド・コンセント 5 安全管理体制に関する組織 6 医療事故を未然に防止するための体制 7 医療事故等が発生した場合（緊急時）の対応 8 医療従事者と患者との間の情報の共有 9 患者からの相談への対応 10 職員研修 11 医療安全推進のために必要なその他の事柄 12 関連マニュアル等	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	
	年12回
1 医療安全管理委員会 原則／毎月・1回 (平成24年度実績 12回) 2 リスクマネジヤー会議 原則／毎月・1回 (平成24年度実績 12回)	
・ 活動の主な内容： 1 島根大学医学部附属病院医療安全管理委員会規則 1) 医療事故等の防止対策に関すること 2) 医療事故等の把握、分析、対処改善及び評価に関すること 3) 医療事故に係る患者及びその家族への対応に関すること 4) 安全管理のための職員の教育・研修に関すること 5) 医薬品の安全使用に関すること	

- 6) 医療機器の安全使用に関すること
 7) その他、医療安全管理に関すること
- 2 島根大学医学部附属病院リスクマネジャーに関する要項
- 1) 安全確保のための点検の実施に関すること
 - 2) 当該診療科等の構成員に対し、安全確保のための指導の実施に関すること
 - 3) リスクマネジャー会議への参画に関すること
 - 4) その他、医療事故防止に関すること

(3) 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年12回
----------------------------	------

- 研修の主な内容：
- 1 医療安全施策の動向
 - 2 産科医療補償制度と医療の質の向上
 - 3 経管投薬時の事故防止と簡易懸濁法
 - 4 注射用抗がん薬調製時における曝露予防 一閉鎖式システムを用いた調製－抗がん薬の曝露予防
 島根大学病院における人工呼吸器に関する問題点
 N P P Vを含めた人工呼吸管理における注意点について
 - 5 小線源療法あれこれ 安全管理
 - 6 医薬品の副作用および医療機器の不具合等の報告制度について
 - 7 血液浄化治療部における機器管理の現状
 透析医療における事故防止対策について
 - 8 院内のD CとA E Dについて
 除細動器の使用方法
 フェルカーベッドの安全な取り扱いについて
 - 9 安全な保育器の使用方法
 - 10 高精度放射線治療の精度管理
 - 11 M R I の安全と最新情報
 - 12 体外循環業務での安全
 P C P Sの安全使用について
- ※ その他の医薬品・医療機器安全使用研修及び新規・中途採用者の医療安全研修外

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) (無)
- ・ その他の改善の方策の主な内容 :

1 インシデントレポート閲覧権限拡大

医療安全管理室員だけではなく、各部署のリスクマネジャー（80名）が自部署のスタッフが提出したインシデントレポートの閲覧が可能となった。

部署のリスクマネジャーとの連携を密にしていき、情報の共有とともに、インシデント分析を部署とともに取り組む。一方的な分析ではなく現場に即した解決策を考え、現場と一緒に分析することで質の向上につなげていく。

2 医療安全管理室員による安全ラウンド

部署の現状が把握できることに加え、他部署の情報も共有していくために、医療安全管理室員による安全ラウンドを開始した。月ごとに重点テーマを決め、チェック・評価を行い、指導につなげていく。

3 侵襲的な検査でのタイムアウト実施に向けての取り組み

内視鏡検査、放射線検査でのタイムアウトが行われていない現状から、実施に向けてのWGを立ち上げ、取り組みを開始した。WHO及び本院手術部使用の手術安全チェックリストを参考にチェックリストを作成し、実施していくこととなつた。

4 業務中断札の配布

看護師が準備途中の薬剤を医師が実施したという事例があり、業務中断中であることがわかるよう「業務中断札」を作成した。ナースコールが鳴るなど業務を中断せざるを得ない状況に限って使用することを注意書きした上で、看護師に配布をした。

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況

有 (1名) ・ 無

⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名) ・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<p>・ 所属職員： 専任（ 1 ）名 兼任（ 8 ）名 ・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他医療に係る安全管理のための委員会の事務に関すること 2 事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認を行うとともに、必要な指導を行うこと 3 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認を行うとともに、必要な指導を行うこと 4 事故等の原因究明が適切に実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと 5 医療安全管理に係る連絡調整に関すること 6 医薬品の安全使用に係る連絡調整に関すること 7 医療機器の安全使用に係る連絡調整に関すること 8 安全管理に関する教育・研修に関すること 9 その他医療安全対策の推進に関すること 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有)・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年39回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容： (院内全体の研修会)<ol style="list-style-type: none">1 医員研修会「処方時の留意点、副作用報告について」2 医薬品安全使用のための研修会「注射用抗がん薬調製時における曝露予防」「抗がん薬の曝露予防」3 医薬品安全使用のための研修会「医薬品の副作用および医療機器の不具合等の報告制度について」4 医薬品安全使用のための研修会「経管投薬時の事故防止と簡易懸濁法」 (薬剤部内の研修会) 製品説明会等 35回	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	<ul style="list-style-type: none">・ 手順書の作成 (有)・無)・ 業務の主な内容<ol style="list-style-type: none">1 医薬品の採用2 医薬品の購入3 調剤室における医薬品の管理4 病棟・各部門への医薬品の供給5 外来患者への医薬品使用6 病棟における医薬品の管理7 入院患者への医薬品の使用8 医薬品情報の収集・管理・提供9 手術・麻酔部門10 集中治療部門11 輸血・血液管理部門12 血液透析部門

13 画像診断部門、臨床検査部門

14 歯科領域

15 他施設との連携

16 事故発生時の対応

17 教育・研修

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況

- 医薬品に係る情報の収集の整備 (有)

- その他の改善の方策の主な内容 :

(情報収集の方法)

1 新規採用時：新規採用薬については、医薬品添付文書・インタビューホームページ・製品概要・各種パンフレット・関連文献（集）等の収集。

また、医薬品添付文書・インタビューホームページ等が更新された場合は、最新情報を収集・更新している。

2 隨時：緊急安全性情報（厚生労働省「医薬品医療機器等安全性情報」）の収集と院内提供をしている。

(情報の周知方法)

1 緊急安全性情報、医薬品・医療機器等安全性情報、D S U等は各診療科、中央・特殊診療施設、看護部等の院内関係部署へ配布する。

薬事専門部会結果（薬剤の採用及び取り消し等）については、院内関係部署へ文書にて情報提供し、さらに新規採用薬については、効能・効果、用法・用量、副作用などの情報も一緒に提供している。

上記の緊急安全性情報、医薬品・医療機器等安全性情報、薬事専門部会結果は院内W e b（薬剤部ホームページ）でも情報提供を行っている。

2 （財）日本医療機能評価機構からの共有すべき情報（医薬品関係）をリスクマネジヤー会議で周知している。

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	(<input checked="" type="radio"/> 有) • 無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 9 回
• 研修の主な内容 :	
1 注射用抗がん薬調製時における曝露予防 一閉鎖式システムを用いた調製－抗がん薬の曝露予防 島根大学病院における人工呼吸器に関する問題点 N P P V を含めた人工呼吸管理における注意点について	
2 小線源療法あれこれ 安全管理	
3 医薬品の副作用および医療機器の不具合等の報告制度について	
4 血液浄化治療部における機器管理の現状 透析医療における事故防止対策について	
5 院内のD CとA E Dについて 除細動器の使用方法 フェルカーベッドの安全な取り扱いについて	
6 安全な保育器の使用方法	
7 高精度放射線治療の精度管理	
8 M R I の安全と最新情報	
9 体外循環業務での安全 P C P S の安全使用について	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
• 計画の策定 (<input checked="" type="radio"/> 有) • 無)	
• 保守点検の主な内容 :	
1 始業点検、終業点検	
2 外部委託によるオーバーホール、院内でのオーバーホール	
3 外部委託による定期保守・緊急保守（故障・修理）	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有)

- ・ その他の改善の方策の主な内容 :

(情報収集の方法)

- 1 平成19年3月30日医政指発第0330001号第4.3に基づき、製造販売業者等から不具合が生じた機器に関する情報を収集している。
- 2 臨床工学技士の研修会及び講習会参加により種々情報を収集している。
- 3 島根県出雲保健所から、人工呼吸器の医療安全対策に係る情報を収集している。
- 4 インターネットによる医療事故情報にて情報を収集している。

(情報の周知方法)

- 1 上記により収集した情報を医療機器安全管理責任者から病院長に報告をすると共に、該当設置部署、会計課及びMEセンターに文書及び口頭にて周知している。
- 2 医療機器の安全使用のための研修会にて情報の周知を行っている。
- 3 医療機器管理システムによる情報発信（予定）

(様式第13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

①院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
<p>・指針の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 院内感染対策に関する基本的考え方 2 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本方針 3 院内感染のための従業者に対する研修に関する基本方針 4 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5 院内感染発生時の対応に関する基本方針 6 患者等に対する当該方針の閲覧に関する基本方針 7 院内における感染対策の推進のために必要な基本方針 	
②院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・活動の主な内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 感染対策室の運営、業務の企画に関すること 2 感染の予防に関すること 3 予防対策実施の指導に関すること 4 感染予防の教育に関すること 5 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること 6 その他感染対策に関すること 	
③従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年4回
<p>・研修の主な内容</p> <p>「結核は忘れたころにやってくる」—最近の結核事情と感染対策—(全体研修会) 「感染対策と呼吸器感染症」(全体研修会) 「感染症と社会、生態学的視点から」(全体研修会) 「感染対策について ー当院における標準予防策および感染経路別予防策についてー」 (新規採用者研修会 1回, 中途採用者研修会 2回)</p>	
④感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・病院における発生状況の報告等の整備 (有)・無) ・その他の改善の方策の主な内容: <ul style="list-style-type: none"> ・各部署をラウンドし状況を確認し、情報収集のうえ指導する。 ・週1回開催する週ミーティング時、感染情報Webを展開して感染症状況、抗菌薬使用状況を分析し、指導する。 ・必要時に関係者を招集し、会議を開催、発生の原因を分析協議し、改善策の立案及び実施の指導ならびに他部署への周知を図る。 	